



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社ジェイテック 上場取引所 東
 コード番号 2479 URL http://www.j-tec-cor.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 幸之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐野 清一郎 TEL 03-6228-7265
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,534	32.7	57	21.7	57	18.1	48	38.0
25年3月期第3四半期	1,909	21.0	47	183.2	48	71.9	34	12.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 53百万円 (48.9%) 25年3月期第3四半期 35百万円 (12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.76	5.54
25年3月期第3四半期	4.17	4.13

(注) 当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成25年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	1,183	550	45.3	64.21
25年3月期	1,087	505	45.5	59.24

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 535百万円 25年3月期 494百万円

(注) 当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成25年3月期の1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成26年3月期(予想)の期末配当額は当該株式分割の影響を勘案すれば平成25年3月期の期末配当と同水準となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,193	18.7	77	20.6	78	18.4	49	3.1	5.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	8,349,600株	25年3月期	8,349,600株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,800株	25年3月期	2,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	8,346,800株	25年3月期3Q	8,346,800株

（注）当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、発行済株式数（普通株式）は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果が発現するなか、企業収益の改善や個人消費の持ち直しがみられるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら海外景気の下振れリスクや、消費税引き上げに伴う駆け込み需要後の反動が見込まれるなど、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業の主要取引先である大手製造業では技術開発投資を継続しており、技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者や、早期戦力化が見込める新卒テクノロジストへの需要は底堅く推移しております。そのため新卒テクノロジストについても研修終了後、順次派遣先での就業を開始していることから、当社グループの稼働率は引き続き高い水準を維持しております。

また、平成24年10月1日付で株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングを連結子会社化したことにより、従来の機械・電気電子・ソフトウェア分野に加えて、新たに建築分野でのサービス提供を開始しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,534百万円（前年同期比32.7%増）、営業利益57百万円（前年同期比21.7%増）、経常利益57百万円（前年同期比18.1%増）、四半期純利益48百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①技術職知財リース事業

株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングの連結子会社化により新たに建築分野の取引が加わったこと、及び自動車関連等の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、技術職知財リース事業の売上高は2,454百万円（前年同期比31.5%増）、セグメント利益は272百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

②一般派遣及びエンジニア派遣事業

情報処理関連の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、売上高は80百万円（前年同期比86.5%増）、セグメント利益は13百万円（前年同期比153.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産総額は1,183百万円となり、前連結会計年度末より96百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加80百万円、売掛金の増加7百万円があったことによるものであります。

負債総額は633百万円となり、前連結会計年度末より51百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金の減少44百万円、未払法人税等の減少20百万円があったものの、短期借入金の増加52百万円、未払費用の増加43百万円、退職給付引当金の増加17百万円があったことによるものであります。また純資産は550百万円となり、前連結会計年度末より44百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率は45.3%と前連結会計年度末の45.5%に比べ0.2ポイント低下いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ80百万円増加（前年同期は94百万円の増加）し、613百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は37百万円となりました。これは主に賞与引当金の減少額44百万円、法人税等の支払額31百万円、売上債権の増加額7百万円、預り金の減少額5百万円等による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益53百万円、未払費用の増加額43百万円、退職給付引当金の増加額17百万円、未払金の増加額8百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は0百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2百万円、無形固定資産の取得による支出2百万円等による資金の減少があったものの、敷金及び保証金の回収による収入6百万円により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は43百万円となりました。これは主に配当金の支払額8百万円による資金の減少があったものの、短期借入金の増加額52百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月7日公表いたしましたとおり、売上高3,193百万円、営業利益77百万円、経常利益78百万円、当期純利益49百万円としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	532,881	613,825
売掛金	364,467	372,312
繰延税金資産	33,935	36,954
未収還付法人税等	2,287	9,219
その他	36,477	40,692
貸倒引当金	△666	△672
流動資産合計	969,382	1,072,332
固定資産		
有形固定資産	21,459	19,567
無形固定資産	6,448	4,825
投資その他の資産		
敷金及び保証金	73,071	66,905
その他	17,132	19,943
投資その他の資産合計	90,204	86,848
固定資産合計	118,112	111,241
資産合計	1,087,495	1,183,574
負債の部		
流動負債		
短期借入金	78,000	130,000
未払費用	90,053	133,233
未払法人税等	20,785	135
賞与引当金	111,465	66,699
その他	162,886	165,590
流動負債合計	463,190	495,659
固定負債		
退職給付引当金	115,314	133,152
その他	3,385	4,221
固定負債合計	118,699	137,374
負債合計	581,889	633,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,357	255,357
資本剰余金	248,495	240,148
利益剰余金	△11,801	36,245
自己株式	△659	△659
株主資本合計	491,392	531,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,083	4,892
その他の包括利益累計額合計	3,083	4,892
新株予約権	460	460
少数株主持分	10,669	14,095
純資産合計	505,605	550,540
負債純資産合計	1,087,495	1,183,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,909,953	2,534,609
売上原価	1,390,537	1,956,810
売上総利益	519,415	577,799
販売費及び一般管理費	471,868	519,915
営業利益	47,547	57,883
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	117	219
助成金収入	1,375	500
消費税等調整額	597	—
その他	109	15
営業外収益合計	2,208	740
営業外費用		
支払利息	915	940
営業外費用合計	915	940
経常利益	48,839	57,683
特別損失		
特別退職金	—	3,747
その他	—	181
特別損失合計	—	3,928
税金等調整前四半期純利益	48,839	53,755
法人税、住民税及び事業税	6,273	5,318
法人税等調整額	6,846	△3,035
法人税等合計	13,120	2,282
少数株主損益調整前四半期純利益	35,719	51,472
少数株主利益	908	3,425
四半期純利益	34,811	48,046

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,719	51,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	1,809
その他の包括利益合計	72	1,809
四半期包括利益	35,792	53,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,884	49,856
少数株主に係る四半期包括利益	908	3,425

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	48,839	53,755
減価償却費	6,117	6,133
のれん償却額	279	837
受取利息及び受取配当金	△126	△224
支払利息	915	940
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53,186	△44,765
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,206	△7,845
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,922	17,838
未払金の増減額 (△は減少)	52,491	8,667
未払費用の増減額 (△は減少)	12,958	43,180
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,414	1,558
預り金の増減額 (△は減少)	△52,318	△5,744
その他	△5,319	△4,551
小計	5,953	69,779
利息及び配当金の受取額	126	224
利息の支払額	△1,049	△1,007
法人税等の支払額	△21,513	△31,656
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,482	37,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,836	△2,841
無形固定資産の取得による支出	△539	△2,098
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△42,393	—
敷金及び保証金の差入による支出	△957	△488
敷金及び保証金の回収による収入	26,855	6,000
貸付金の回収による収入	110,122	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,251	571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	25,000	52,000
配当金の支払額	△4,084	△8,245
リース債務の返済による支出	△616	△723
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,299	43,031
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,067	80,943
現金及び現金同等物の期首残高	424,956	532,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	519,024	613,825

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,867,006	42,946	1,909,953	—	1,909,953
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,867,006	42,946	1,909,953	—	1,909,953
セグメント利益	268,096	5,394	273,490	△225,943	47,547

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△225,943千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間に、トステム・エンジニアリング・オフィス株式会社(平成24年10月1日付で株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングに商号変更しております。)の株式を取得したことにより、「技術職知財リース事業」セグメントの資産が、前連結会計年度に比べ200,065千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間に、トステム・エンジニアリング・オフィス株式会社(平成24年10月1日付で株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングに商号変更しております。)の株式を取得したことにより、のれんを3,348千円計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,454,503	80,105	2,534,609	—	2,534,609
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,454,503	80,105	2,534,609	—	2,534,609
セグメント利益	272,943	13,670	286,614	△228,730	57,883

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△228,730千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。